

2010年5月期(第12期) 決算補足資料

2010年7月13日(火)

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。
尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

【1】決算概要

- 2009年 6月 HRソリューションズ株式会社と業務・資本提携
- 2009年 9月 外国人向け情報サイト「VisitFirst日本版(英語・日本語)」オープン
- 2009年10月 「英文広告総合研究所」設立
- 2009年12月 iPhone アプリ収益化支援コンサルを開始
- 2009年12月 中国富裕層マーケティング調査サービス開始
- 2009年12月 外国人向け情報サイト「VisitFirstタイ版(日本語)」オープン
- 2010年 2月 外国人向け情報サイト「VisitFirst日本版(簡体字・日本語)」オープン
- 2010年 4月 翻訳事業キャンペーン実施による販促強化
- 2010年 4月 スマートフォン向け サテライトサイト構築サービス共同開発
- 2010年 5月 アウンタイラボラトリーズ一部営業拠点化

- 売上総利益：売上高の減少 ▲1,034 / 仕入の減少+591 / 製造原価の減少 +126
- 特別利益：移転補償金 +82

	実績		前年同期比	
	10/5期-4Q (連結累計)	09/5期-4Q (連結累計)	増減額	増減率
売上高	2,760	3,795	▲ 1,034	▲ 27.3%
売上総利益	555	872	▲ 317	▲ 36.4%
売上総利益率(%)	20.1%	23.0%	—	—
販管費	725	793	▲ 68	▲ 8.6%
販管费率(%)	26.3%	20.9%	—	—
EBITDA	▲ 98	293	—	—
営業利益又は営業損失	▲ 170	78	—	—
営業利益率(%)	—	2.1%	—	—
経常利益又は経常損失	▲ 170	83	—	—
経常利益率(%)	—	2.2%	—	—
当期純損失	▲ 276	▲ 461	—	—
純利益率(%)	—	—	—	—
EPS(円)	▲ 3,811.70	▲ 6,385.89	—	—

(金額単位:百万円)

- 流動資産：現預金の減少▲107
- 固定資産：無形固定資産の減少 ▲187
- 固定負債：退職給付引当金の減少 ▲11

	実績		前年同期比	
	10/5期-4Q (連結)	09/5期-4Q (連結)	増減額	増減率
流動資産	1,294	1,441	▲ 147	▲ 10.2%
現預金	858	966	▲ 107	▲ 11.1%
固定資産	184	383	▲ 199	▲ 51.9%
有形固定資産	34	14	+ 19	133.8%
無形固定資産	24	211	▲ 187	▲ 88.3%
投資その他の資産	124	156	▲ 31	▲ 20.3%
総資産	1,479	1,825	▲ 346	▲ 19.0%
流動負債	362	373	▲ 10	▲ 2.8%
固定負債	18	41	▲ 23	▲ 56.1%
負債合計	381	414	▲ 33	▲ 8.1%
純資産	1,098	1,410	▲ 312	▲ 22.2%

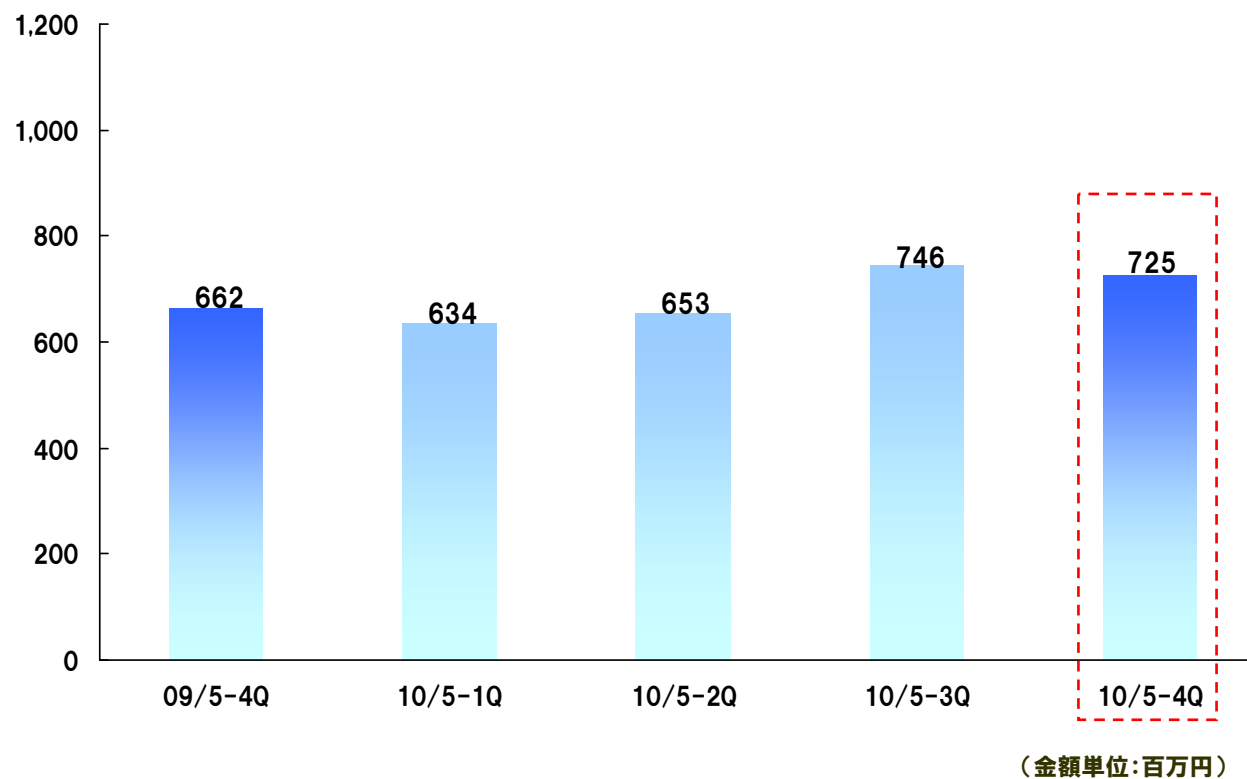
(金額単位:百万円)

- 営業CFの減少 ▲286
- 現金及び現金同等物の期末残高 ▲88

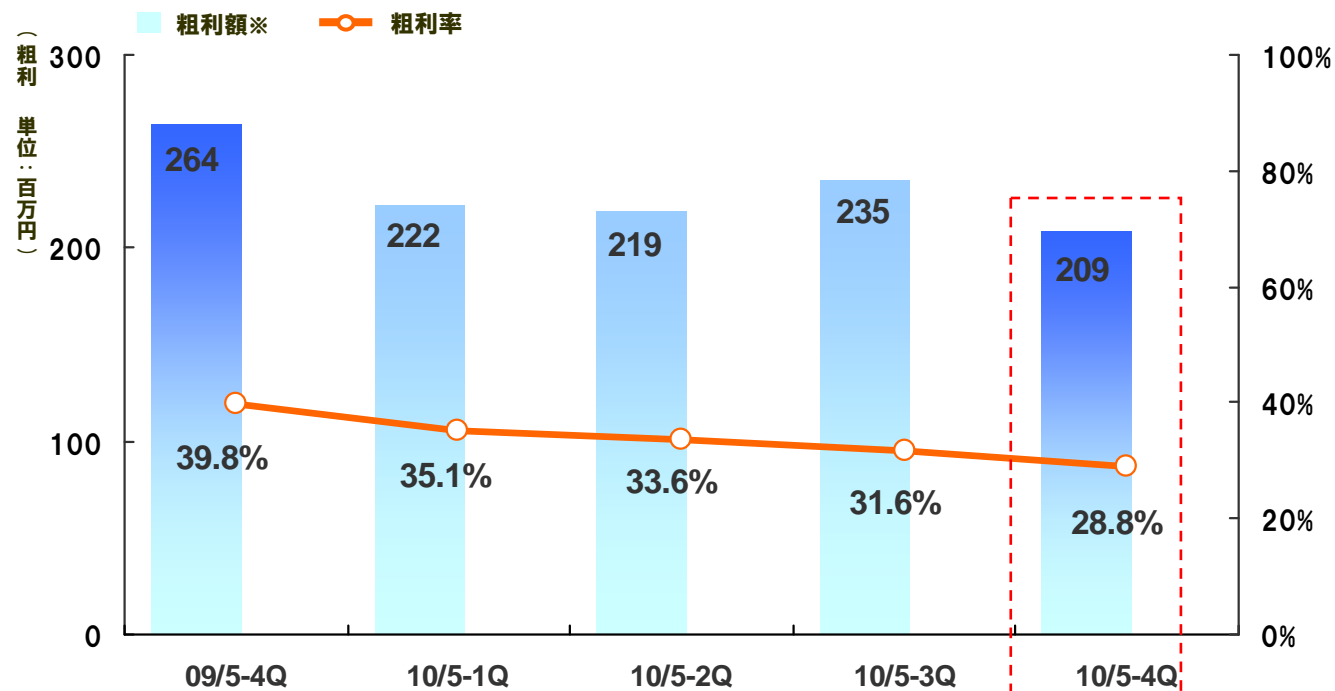
	実績		前年同期比
	10/5期-4Q (連結累計)	09/5期-4Q (連結累計)	増減額
営業活動によるCF	45	332	▲ 286
投資活動によるCF	▲ 55	▲ 125	+ 69
財務活動によるCF	▲ 80	▲ 72	▲ 7
現金及び現金同等物の増減額	▲ 88	132	▲ 220
現金及び現金同等物の期首残高	947	814	+ 132
現金及び現金同等物の期末残高	858	947	▲ 88

(金額単位:百万円)

- 前年同期比9.5%増(662百万円→725百万円)
- 3Qとの比較においてP4P売上高が堅調に推移し売上高は横ばい(746百万円→725百万円)

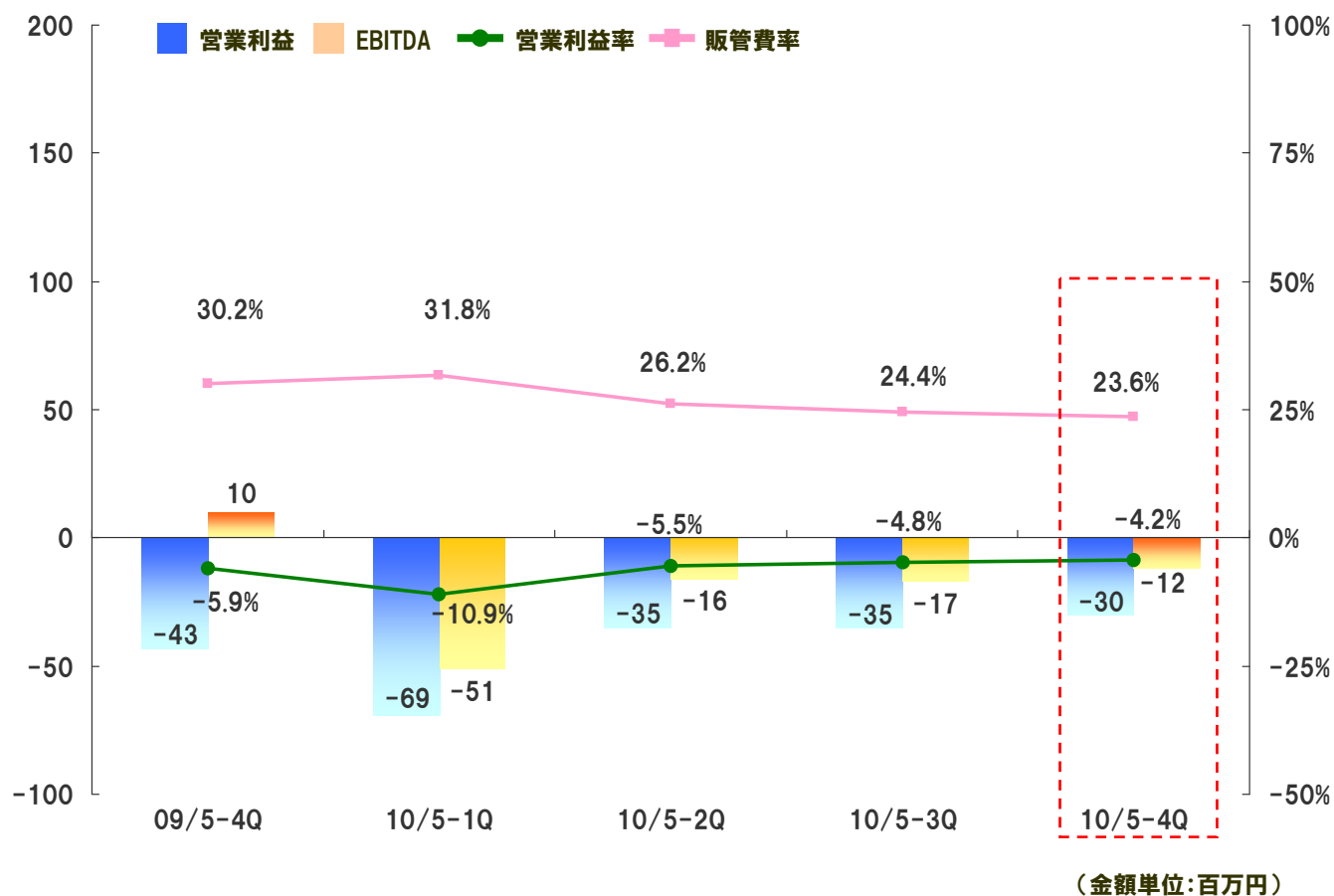


- 粗利高は、売上減により減少
- 原価率の高い商材の売上が増加したため粗利率は減少(39.8%→28.8%)

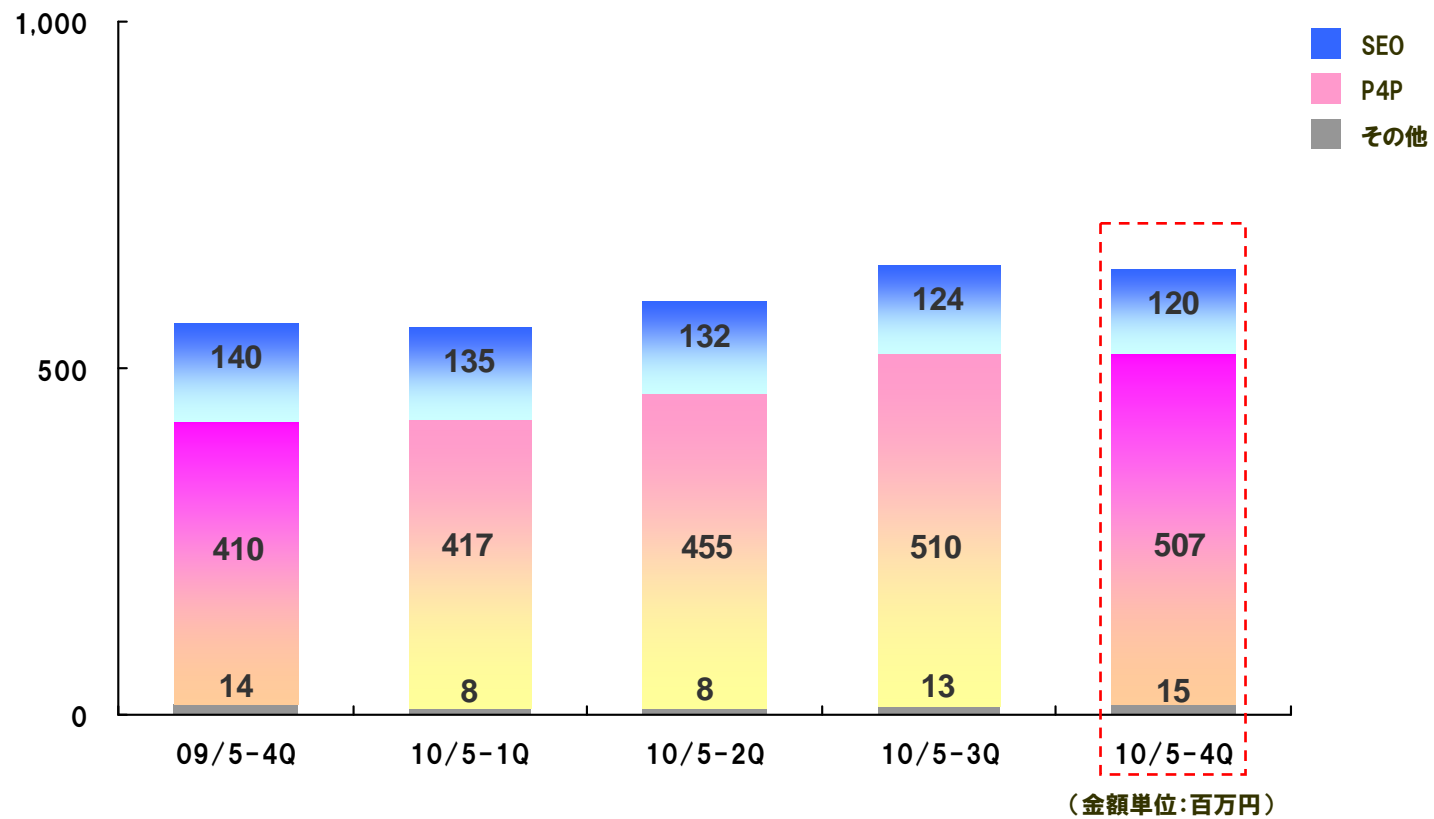


※このページでの粗利は限界利益を示します。
(限界利益 = 売上高 - 変動費)

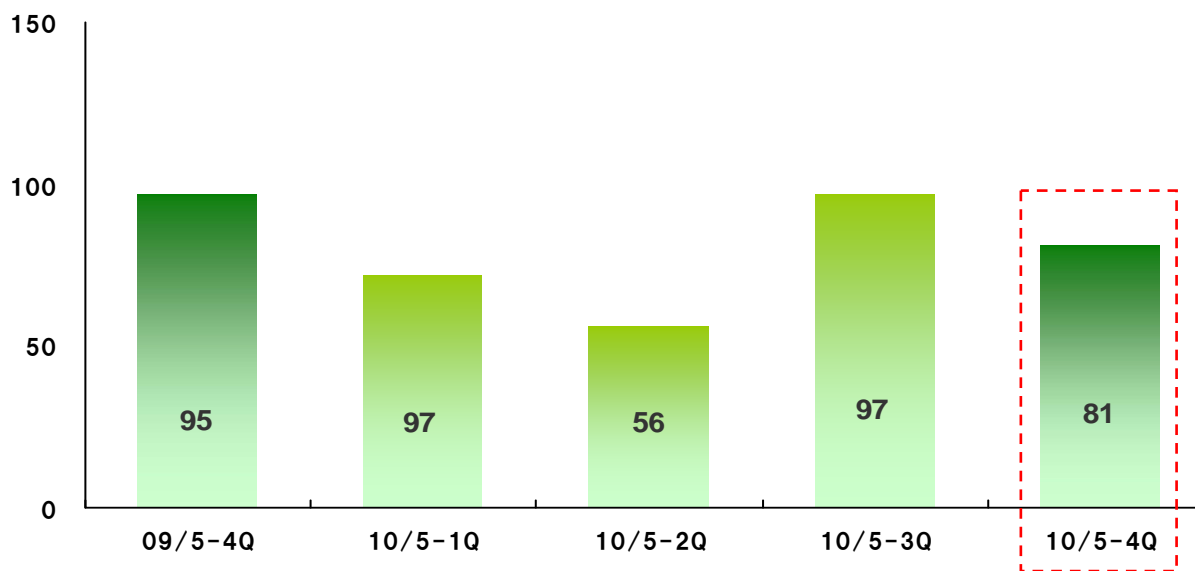
● 前年同期比においてローコストオペレーションが奏功し、
販管費率が改善(30.2%→23.6%)



- 前年同期比においてP4P売上高が堅調に推移し、事業全体の売上高が回復(410百万円→507百万円)

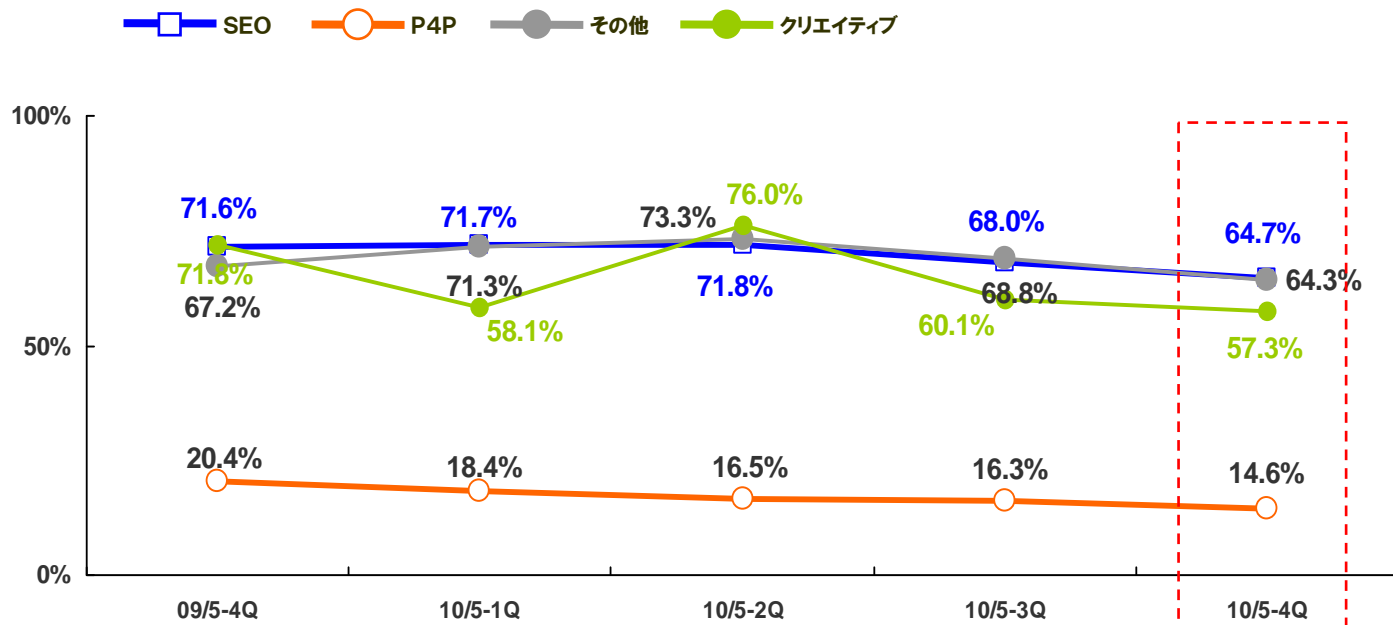


- 大手クライアントの広告宣伝費抑制の影響からキャンペーンの規模縮小により売上が減少(95百万円→81百万円)

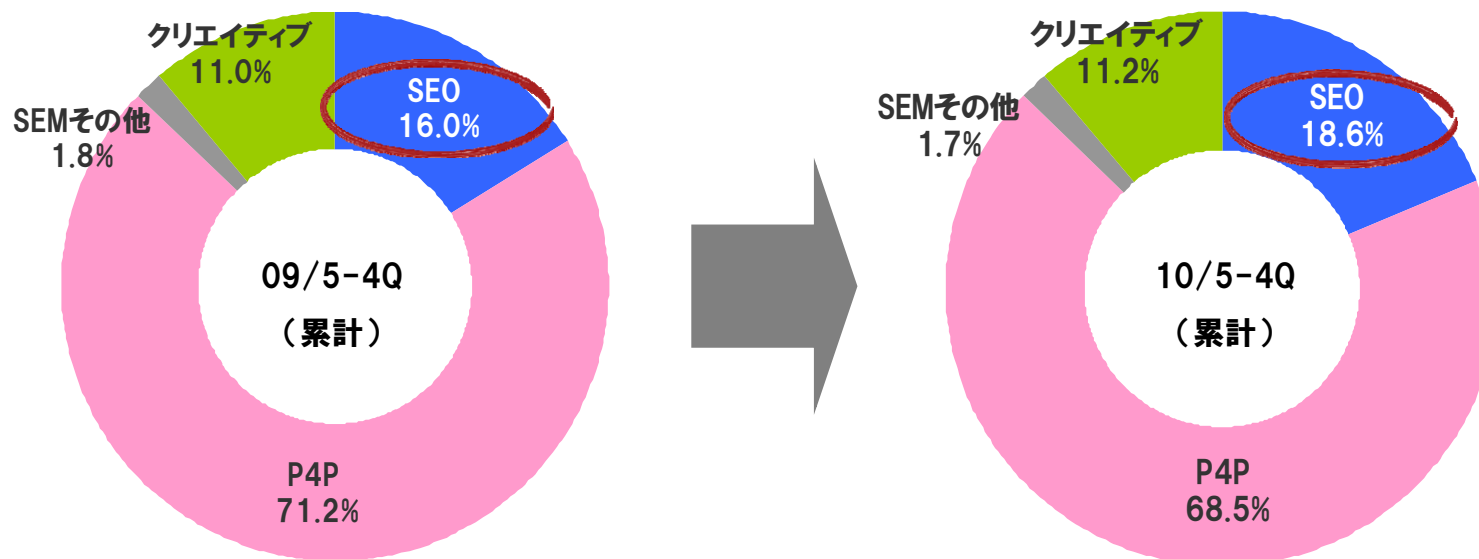


(金額単位:百万円)

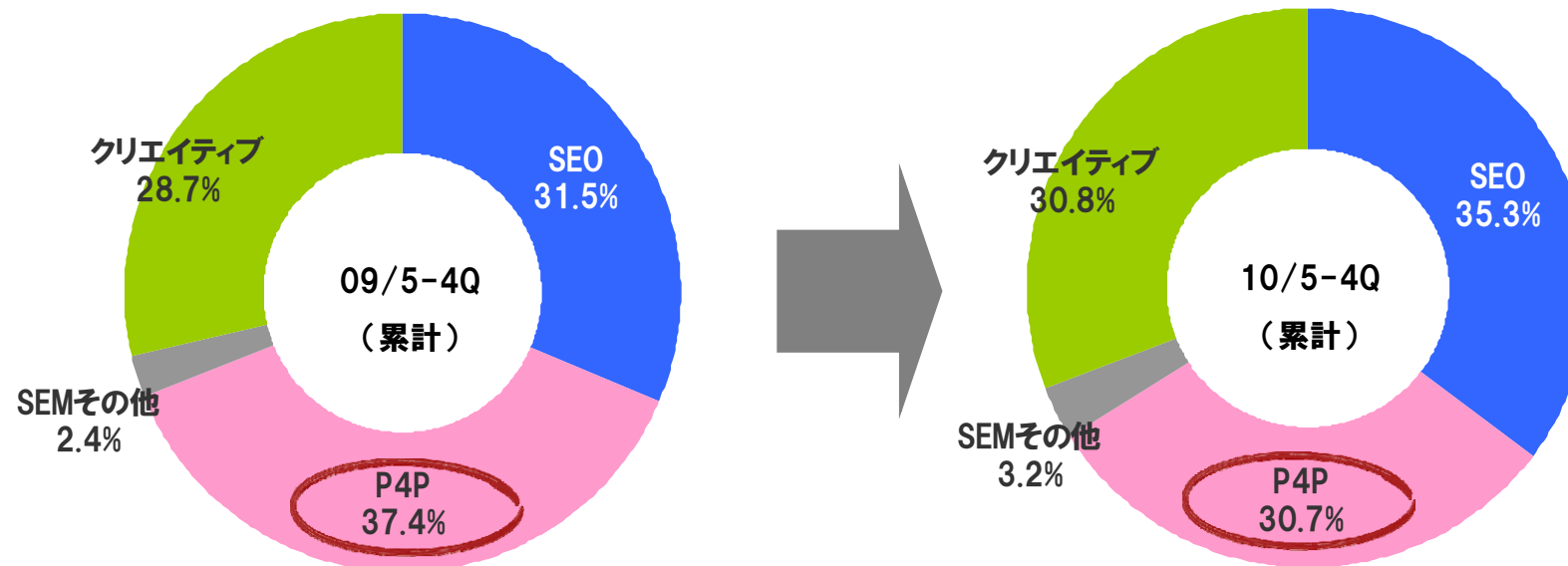
● パッケージ販売により粗利率が低下



- 利益率の高いSEOの売上構成比が向上(16.0%→18.6%)



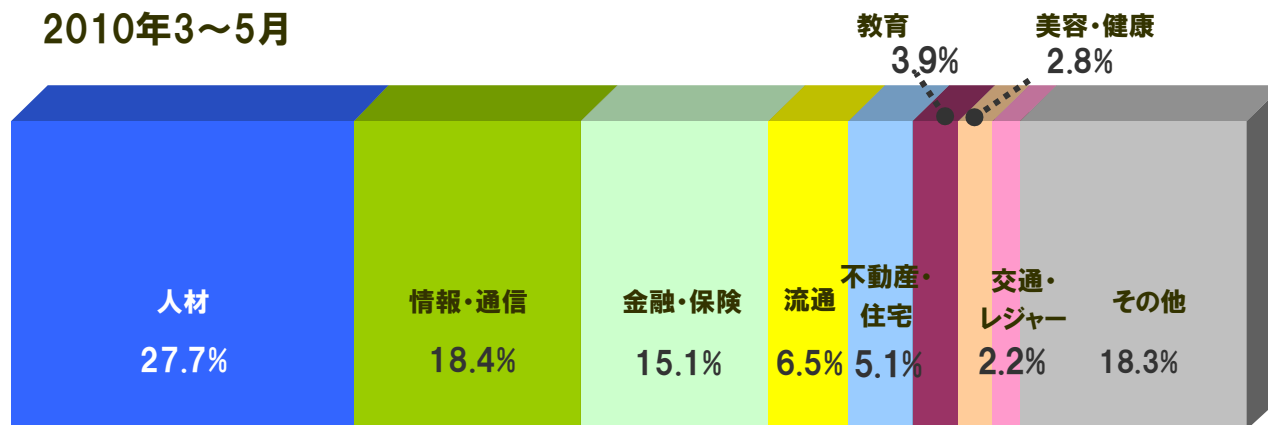
● 事業ポートフォリオの転換により粗利構成の偏りが軽減(37.4%→30.7%)



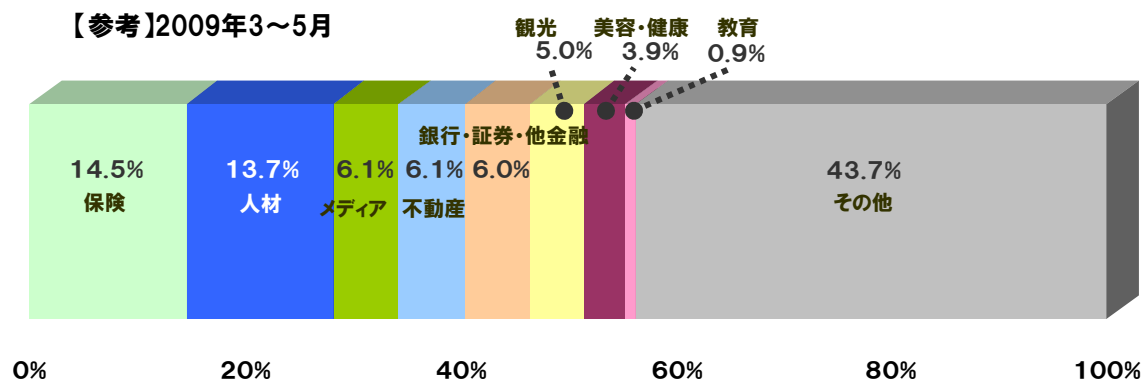
※粗利は管理会計ベースの数値(売上-仕入)を示します。

- 業種に合わせたサービス提案を促進
- 人材、情報・通信が好調
- パーセンテージは、10年3～5月における全サービスの売上高をベースにて算出

2010年3～5月



【参考】2009年3～5月



※第2四半期より顧客業種属性の分類を変更し、新たに流通を追加しております。

- グローバルコンサルティング領域のさらなる促進
- 業績回復のための収益体質を強化

第2四半期	売上高	営業損失	経常損失	当期純損失
2011年5月期 連結業績予想	1,260	▲77	▲77	▲77
前期実績 (2010年5月期)	1,288	▲104	▲104	▲47
増減額	▲28	27	27	▲30

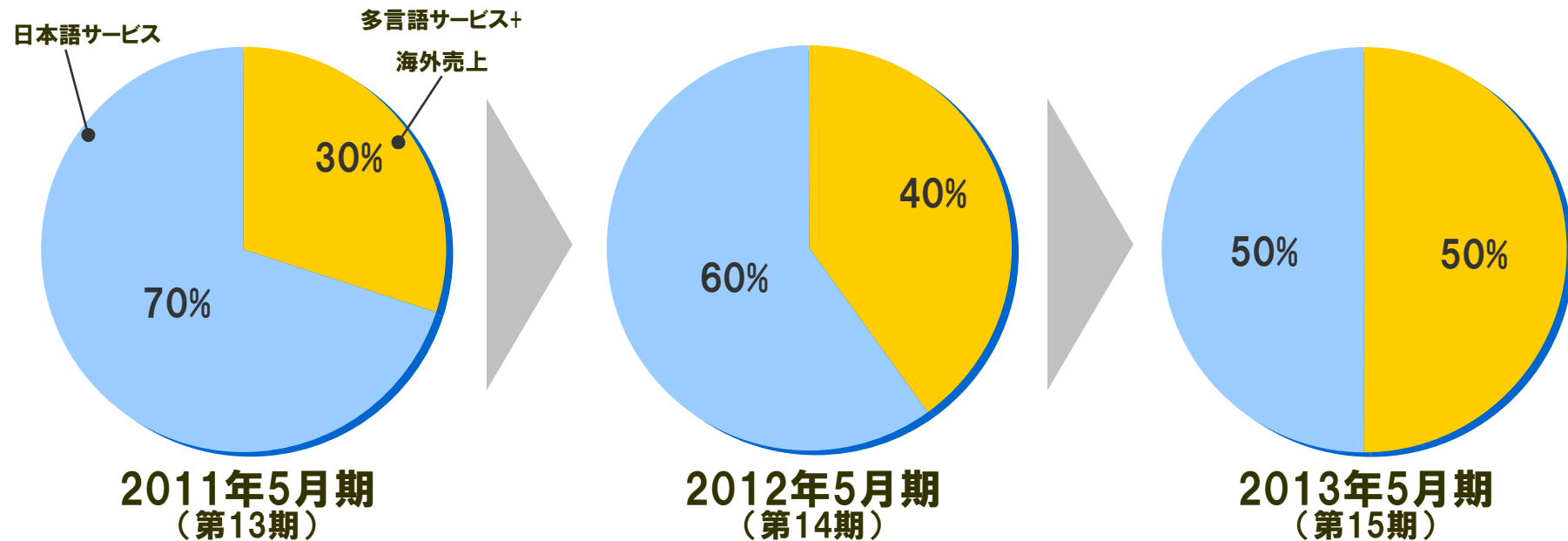
通期	売上高	営業利益又は営業損失	経常利益又は経常損失	当期純利益又は損失
2011年5月期 連結業績予想	2,621	51	50	29
前期実績 (2010年5月期)	2,760	▲170	▲170	▲276
増減額	▲139	221	220	305

(単位:百万円)

【2】今後の取り組み

事業目標1/2 > 売上構成比の転換(多言語構成比)

- 第12期目標:多言語サービス+海外売上25%→12%と未達成
- 国内P4P売上が予想より伸びたことによる国内売上比率の向上
- 多言語サービス販売体制が不十分



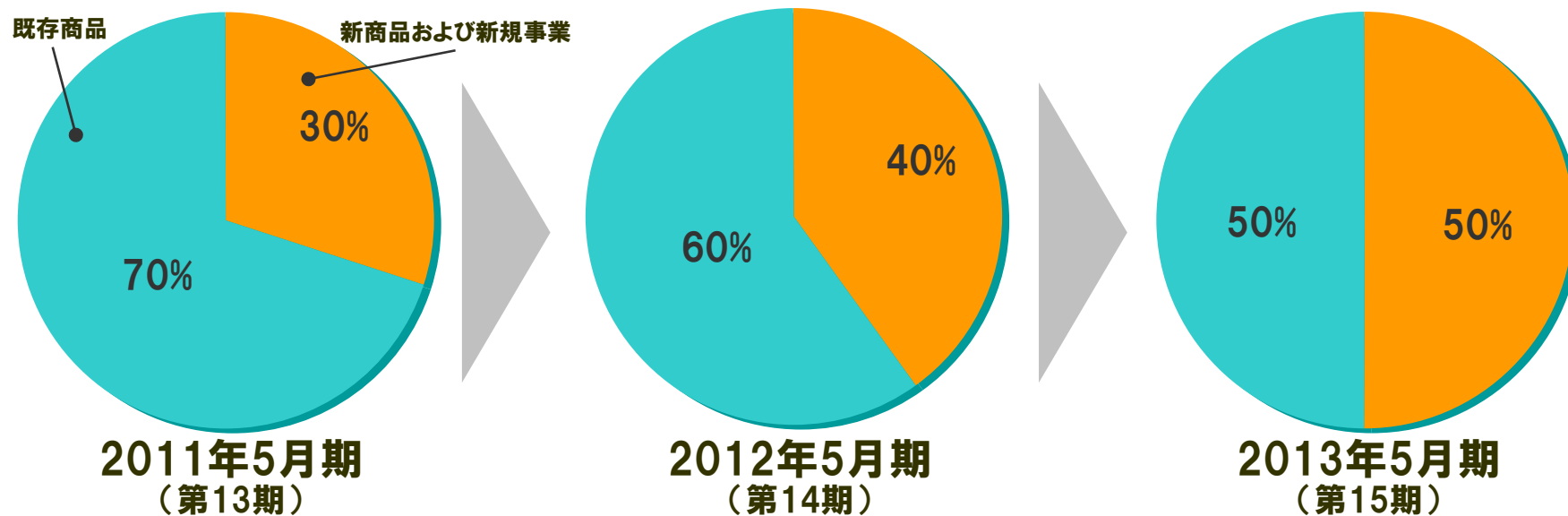
※多言語サービス

多言語SEM、メディア、翻訳、クリエイティブにて提供するサービス

※前期にて目標未達成のため構成比の見直しを行っております

事業目標2/2 > 売上構成比の転換(新商品・新規事業構成比)

- 第12期目標:新商品比率10%→16%と達成
- 事業ポートフォリオの転換が奏功
- 引き続き新商品・新規事業を促進し、トップラインを向上



※新商品

SEMとクリエイティブから派生した商品で、メディア、翻訳などのサービス

※今後の見直しから再度検討し、構成比の見直しを行っております

1. グローバルサービスの強化

2. 海外営業拠点及び生産拠点の拡充

- グローバルサービスラインナップの促進
- 他事業との連携による販売体制を強化

マーケティング

英・中・日などの多言語によるSEM支援
(SEO・P4P・バナー広告など)



コニカミノルタ



日本ユニシス

クリエイティブ

英・中・日などの多言語によるWeb、グラフィック制作



キヤノン/カメラ性能紹介ページ



ソニー/バイオ商品ページ

ワンストップでサービスを提供

メディア

ダブルランゲージによる
観光総合情報ポータルサイト運営
(アジア11カ国×5言語展開予定)



日本情報/英語版



日本情報/中国語版



タイ情報/日本語版



台湾情報/日本語版

ランゲージ

世界64ヶ国語による翻訳
高品質・低価格でのサービス提供



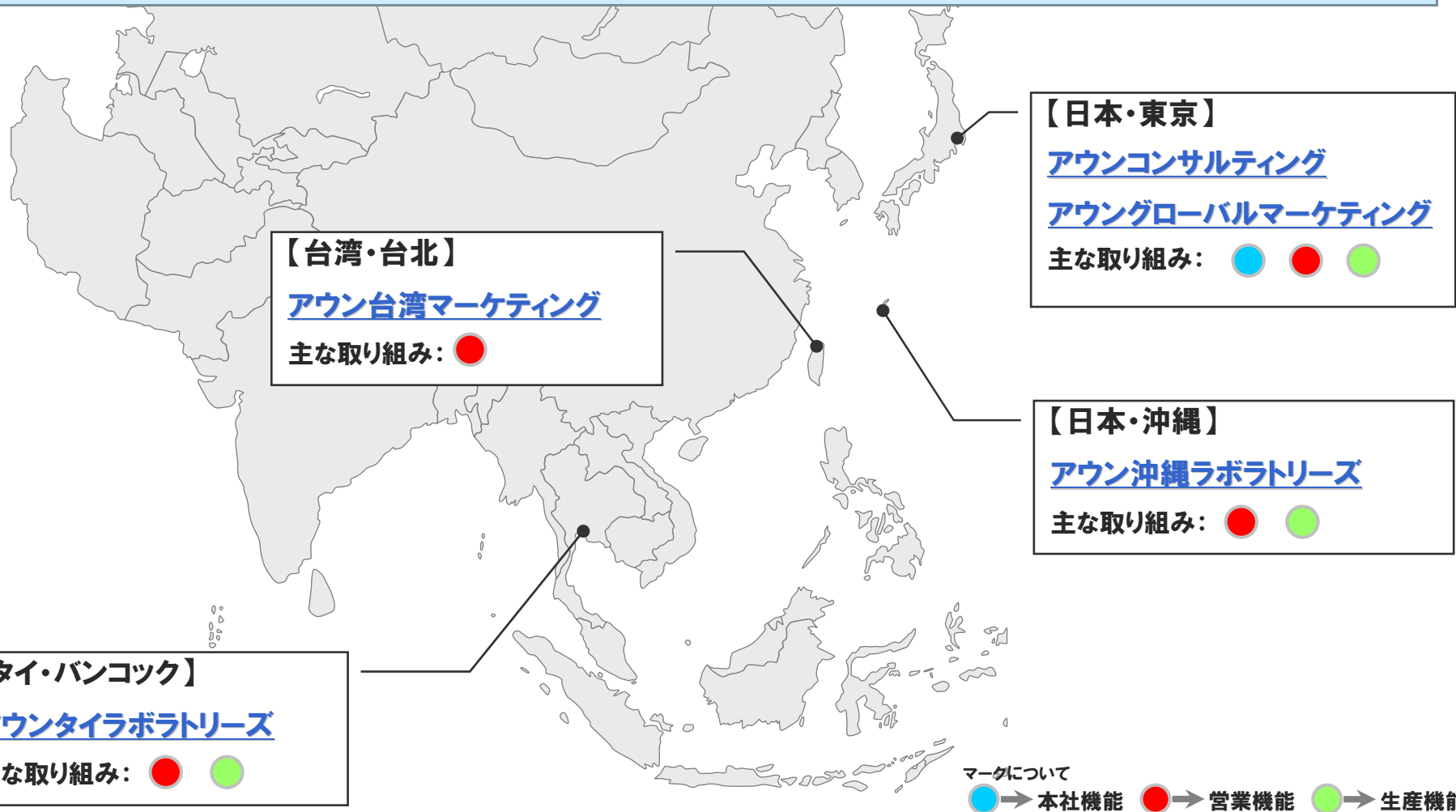
東京都市大学



日本海洋

※当社グループにおける実績企業例

- 台湾における子会社設立(6月1日より営業開始)
- 海外拠点による営業活動の拡充



卷末資料

従来のSEM(検索エンジンマーケティング)を中心としたプロモーションの支援を日本からアジア地域を対象にコンサルティング支援



主なサービス

- SEOマクロ(日本語/英語・中国語など)
- SEOミクロ(日本語/英語・中国語など)
- P4P(日本語/英語・中国語など)
- iPhoneマーケティング
- ログ解析

多言語におけるWebサイト、グラフィックデザイン (紙媒体)を制作 クオリティの高いマルチ制作を提供

主なサービス

- Web／紙媒体制作
- 動画制作
- コピーライティング



■ キヤノン／カメラ性能紹介



■ ソニー／バイオ

■ 採用企業様

味の素／EPSON／
大塚商会／オリンパス／
外務省／科学技術振興機構／
カネボウ／コクヨ／
JR東日本／ジャストシステム／
SONY／東芝／
NTTドコモ／パイオニア／POLA／
ホンダ(50音順)

世界64ヶ国語に対応し、各分野の 専門文書に対応 高品質な翻訳を低コストかつスピーディに提供

主なサービス

- 一般文書翻訳
- 契約書翻訳
- 論文翻訳



観光総合情報ポータルサイト Visit First(日本版、タイ版、台湾版)を 多言語で展開 豊富なコンテンツと情報量を提供

主なサービス

- VFペイドパブリシティ
- VFアド
- 情報提供



Visit First(日本版:日本情報、
英語・中国語・日本語)
http://www.visit-first.com/japan_guide/



Visit First(タイ版:タイ情報、日本語)
http://www.visit-first.jp/thai_guide/



(証券コード:2459)

設立	1998(平成10)年6月8日
資本金	339,576千円(2010年5月末現在)
役員	代表取締役 兼 代表執行役員 信太 明 取締役 兼 常務執行役員 棚橋 繁行 取締役 兼 常務執行役員 橘川 徹也 取締役 兼 常務執行役員 坂田 崇典 社外取締役 藤原 徹一 常勤監査役 工藤 典久 監査役 中谷 正史 監査役 加藤 征一 監査役 松村 卓朗
本社	東京都文京区後楽1-1-7 グラスシティ後楽
グループ会社	アウングローバルマーケティング株式会社 アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社 AUN Thai Laboratories Co.,Ltd. 台湾亞文營銷事業股分有限公司
社員数	150名[正社員のみ135名(グループ会社含む・役員含まず)](2010年5月末現在)

1998	6	アウンコンサルティング株式会社を千葉県松戸市に設立(資本金10,000千円)
	9	本社を福島県福島市へ移転
	10	検索エンジン関連業務(登録業務)開始
1999	10	SEO(検索エンジン最適化)コンサルティングサービス開始
2001	1	東京営業所を、東京都文京区に開設
2002	4	本社を東京都文京区へ移転
	10	SEO専門ポータルサイト「検索エンジン最適化情報チャンネル(SEO-ch)」開設
	11	検索エンジンにおける検索結果の上位表示コンサルティングサービス「SEOオーソリティ」開始
	11	P4P(検索連動型広告・コンテンツ連動型広告)販売開始
2003	3	P4P運用コンサルティングサービス「P4Pマネージャー」開始
	4	SEM専門ポータルサイト「検索エンジンマーケティング情報チャンネル(SEM-ch)」開設
2004	10	本社を東京都千代田区に移転
2005	11	東京証券取引所マザーズ上場(証券コード:2459)
2006	12	沖縄ラボ開設
2007	4	トレンドウォッチャー向けの最新情報サイト「Trend-ch」開設
	5	海外マーケティング総合情報サイト「CBM-ch」開設
	10	日本テクノロジーFast50 受賞
	12	シリウステクノロジーズ社と「モバイルSEO事業」譲渡契約締結
2008	4	沖縄とタイ・バンコックに法人設立
	6	株式会社アート・スタジオ・サンライフの株式譲渡契約締結
	12	株式会社ジーネットワークスより翻訳事業譲渡契約締結
2009	7	株式会社アート・スタジオ・サンライフをアウングローバルマーケティング株式会社へ社名変更
	9	本社を東京都文京区に移転
		訪日・在日外国人向け情報サイト「Visit First」正式オープン
	11	AsiaPac Net Media Ltd.(香港)との業務提携契約締結
2010	6	台湾・台北に法人設立